



みみよい

79

発行日/2025 年 6 月 25 日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

ごあいさつ

折出 秀人

初夏の季節となりました。暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

今年の 11 月に開催される、聴覚障害者の国際スポーツ大会「東京 2025 デフリンピック」まで、あと 150 日を切りました。夢にチャレンジするデフアスリートを全力で応援したいですね。



7 月の「みみサロン」では、サムスン 2017 デフリンピックの 4×100m リレーにて金メダルを獲得した三枝浩基さんをお招きし、選手時代の話や現在の活動等についてご講演いただきます。獲得された金メダルも持ってきてくれるそうです。

ぜひこの機会にご参加いただき、日本で初めて開催されるデフリンピックを一緒に盛り上げていきましょう！！

開催事業報告



《みみサロン》



5/17(土)朝から大雨で心配でしたが、サロンが始まる午後には小雨になり、13 名が参加してくださいました。今回は、「+Voice(プラスヴォイス)」からご自身もろう者である森本 有加さんにお越しいただきました。社名にある「ヴォイス」は英語で「声」という意味。社会になかなか届かない(理解いただけない)ろう難聴者の”声(本音)”を伝える企業でありたいという想いから、「もう一つの声を届ける」=「プラスヴォイス」と名付けられたそうです。

さて、「電話リレーサービス」が広がってきたのは最近のことですが、プラスヴォイスでは 20 年以上の実績があるサービスとのこと。創立者がろう者の友達に「助けてくれ。救急車をよんでくれ」というビデオ通話を受けたことが会社設立の始まりだとお聞きしました。プラスヴォイスが運営しているもうひとつのサービス「えんかく」では、その場にいる人との会話にも使うことができます。引越時にご近所さんに挨拶へ行く時や、買い物等で細かい相談をしたい時などに使うことができます。離れた場所にいる人に電話をする=電話リレーサービス、目の前にいる人と話をする=えんかく、というイメージです。

利用料金についても詳しく説明がありました。現在は、利用者が料金を負担するのではなく、銀行や保険会社などの企業がプラスヴォイスと契約し、手話と文字での対応窓口を設置するケースも増えています。個人が利用する電話リレーサービス等とも合わせて、ご自身に合う利用方法を見つけてください。手話や文字での問い合わせ窓口もあります。詳しく知りたい方はホームページから無料で問い合わせができますのでご利用ください。

ご参加くださった方からは、「きこえない人がより平等に暮らせるサービスのことを学べた」、「いろいろなサービスがあるがネットで調べても違いがよくわからなかった。今日、より理解できた」等の感想をいただきました。講師の森本さん、ありがとうございました。

《きこえのセミナー》



5/24(土)きこえのセミナーを開催しました。この日も雨のせい少人数でのスタートとなりましたが、結果的に、参加の方から質問も多かったためじっくりお話をきくことができたのではないかと思います。

今回は、一般財団法人日本財団電話リレーサービスが提供している『相手の声が読める電話「ヨメテル」』の登録説明会です。日本財団電話リレーサービスと大阪ろうあ

会館から登録サポートスタッフ等を含め 5 名で来ていただきました。講師は難聴で補聴器ユーザーである朝倉 ゆり奈さん。北海道出身という自己紹介から始まり、ご自身の利用体験を含めお話をいただきました。

電話リレーサービスでは、相手の声を文字で見たい場合は自分も文字を入力する必要があったのですが、入力が苦手な方には不便なものでした。今年 1 月から声で話し、相手の声は文字になるという「ヨメテル」が開始されたということで、料金体系の説明や、実際の場面を想定してのデモストレーションを行っていただきました。AI(自動音声認識)の文字認識も間違いが少なく、正確な様子を見ることができました。参加者が気になるのはや

はり料金。電話相手に負担がかかるのでは…、と心配しての質問もありました。相手の方は、その方が契約している携帯電話の通話料金がかかります。「電話し放題」のようなプランであれば負担はありません。

ただ、まだまだ認知度が低いため、電話をかけて初めの音声ガイダンスをイタズラや迷惑電話と勘違いされ切られてしまうことも多いそうです。広く周知するためにも、たくさんの方が積極的に利用する必要もあります。みなさんも登録してみたいかでしょうか。登録するだけは無料ですので、ヨメテル専用番号をもらって周りの人に番号を伝え、電話をかけてもらってみてください。頑張って聞く必要はなく、文字を見ながら話せるのでとても安心感があります。1 時間は会話の文字が残っています。聞き取る事に必死でメモを取り忘れることもあるので、この機能はかなり良いですね。

この日は 3 名の方が登録を済ませました。登録会ではその場で処理が終わり、すぐに使えます。難聴職員も登録し、試しました。今まで全てをメールでやり取りしていましたが、「連絡が楽になった」と家族が喜んでくれました。大阪ろうあ会館でも登録サポートを行っているということですが、センターでも資料を置いていますので必要な方はご相談ください。

《もじサロン（筆談会・わいわいおしゃべり会）》



5 月は 3 名の参加者： 回を重ねてきて参加者同士が顔なじみになってきました。「悩みや困りごとは？」と投げかけてくれた方にそれぞれが筆談で返していききました。聞き返しや聞き間違いなどで家族や身近な人とのやりとりにストレスを感じるのは、もじサロンの参加者はみんな同じ。文字変換アプリを使ったり、補聴器とスマホを Bluetooth で繋げているという方もおられました。また、悩みの解決策がなかなか思いつかず、堂々巡りして考え疲れて寝てしまうという人も…。「内容は言えない」と言うので、みなさん「どう返答しようか？」と悩んでしまいましたが、解決しないとストレスが溜まりますよね。別の参加者から「ストレス解消法は!？」と問いかけがあり、「カラオケ!」と返す方もありました。きこえにくくても歌は好き。多少音程が外れていても気にせず、声を出してすっきりするのも良いですね♪ 安いカラオケ店を教えてもらい、「今度、みんなで行きましょう!」と和やかに会が終わりました。

きこえない・きこえにくいみなさん、筆談で楽しくおしゃべりしましょう。ご参加お待ちしております。

「聞き取り困難症」調査研究事業開始

【大阪公立大学協創推進事業】
LiD/APDに対する聞き取り状況の改善に
関する調査研究



5月25日(日)、堺市と大阪公立大学の連携事業である「LiD/APDに対する聞き取り状況の改善に関する調査研究事業」の説明会が開かれました。視覚・聴覚障害者センターは、当事者や保護者の相談と機器貸出の窓口として、この調査研究事業に関わっています。

「LiD/APD(聞き取り困難症/聴覚情報処理障害)」とは、聴覚から入った音の情報を理解する際に、何らかの障害が生じて

いる状態であり、主な症状として「聞き返しや聞き誤りが多い」、「雑音が多い環境での聞き取りが困難」、「口頭で言われたことを忘れやすい」などがあります。今回の調査研究は、対象者に対して補聴援助システム(本事業ではロジャー)を貸与し、家庭や学校での機器の装用を通して、聞き取り困難による言語発達や学習の遅れ等を補う効果を測ることを目的としています。対象は、堺市在住の小・中学生のうち、大阪公立大学 阪本浩一特任教授(医誠会国際総合病院勤務)からLiD/APDとの診断を受け、補聴援助システムの装用を指導された方です。

聴力検査の結果では難聴が発見できず、それでも聞き取りにくさを感じているお子さんがおられましたらご相談ください。なお、高校生以上は本調査研究の対象外ですが、当センターへのご相談は受け付けています。まずはお電話、またはメールでのご予約をお願いします。

補聴機能付きイヤホン・集音器って？

最近、目にするようになった「補聴機能付きイヤホン」。アップル社の「AirPods Pro2(エアーポッズ プロツー)」は、iPhoneのアプリでヒアリングチェックをし、結果に合わせてイヤホンの音量を調整してれます。「会話を強調」の機能により、軽度難聴の方であれば補聴器代わりに使用できるというものです。



一方、「集音器」もいろいろなタイプが登場しています。補聴器のように聴力に合わせた細かな調整はできませんが、効果の出る方もおられます。今回、イヤホン・ヘッドホン専門店の「e☆イヤホン日本橋店」でご紹介いただいたのが「きこエール」。

スマホ等でも使えるイヤホンに集音機能が備わったタイプです(左の写真)。



もちろん、これらに補聴器と同等の機能はありません。また、イヤホンや集音器は補聴器のようなお試しもできず、効果があるかどうかはわからないのに購入するのも躊躇しますね。e☆イヤホンでは、ご自身に合う補聴機能付きイヤホン、集音器の試聴が可能です。また、イヤピース(耳の穴に入る部分)の種類も多く、オーダーメイドもできるとのこと。耳にぴったり合うイヤピースなら、イヤホンを落とす心配もなくなりますね。

e☆イヤホンでは、「ミミハグ(Ear Hug Project=イヤーハグプロジェクト)」にも取り組んでおられるとのこと。耳を守りながら(ハグ)良い音を長く楽しむための取り組みで、医療機関との連携も検討されているそうです。また、聴覚過敏や聞き取り困難の方も、ノイズキャンセリング機能のあるイヤホン、ヘッドホンの試聴ができますので、ご活用ください。



ヘッドホン試聴コーナー



AirPods
Pro2



きこエール



対話くん
(有線タイプ)
当センター貸出機器

手話奉仕員・通訳者養成講座

手話があふれるまちをめざして

市民向け手話講座は、6月より午前の部4区、夜間の部3区でスタートしました。北区、東区のみ選挙関係での会場都合により、8月から開始します。

きこえない・きこえにくい人の暮らしや手話言語の理解がより広く伝わりますように…。

要約筆記者養成講座

大きな山を乗り越えよう！！

開講後の交流会では、難聴者の生活や心理についてたくさんの学びがありました。5月からは4時間の講義の連続。長時間で大変ですが、交流会で感じたことを大切にしながら学習を続けてください。体調に気をつけて乗り切りましょう！！

センター(聴覚)の行事

※行事はすべて事前申込が必要です。

7月10日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

7月19日(土) 14:00~16:00

みみサロン

講演「全ての人に可能性がある」

(デフリンピック金メダリストのお話)

7月26日(土) 14:00~16:00

保護者学習会+中高生セミナー

「補聴器・人工内耳のある暮らし」

8月14日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

ご参加をお待ちしております。

※補聴器相談について

7月は予約がいっぱいです。

8月はお休みです。

9月以降、ご予約を受付しています。

ビデオライブラリーのおすすめ

「silent 5」

湊斗から別れを告げられた紬は気持ちの整理がつかず、手話講師の春尾正輝と話すうちに、湊斗を本当に好きだったことを実感します。一方、想も紬と湊斗が別れたのは紬と再会した自分のせいではないかと悩んでいました。

「デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士 前編『記憶の中の少女』」

荒井尚人は、コーダであることに複雑な感情を抱えながら生きてきました。しかし、交際する安斉みゆきとの将来を考え、手話通訳士の道を選びます。そんな尚人のもとを刑事の何森稔が訪れ、殺人事件について尋ねてきました。その事件は17年前に尚人が手話通訳を担当した、決して忘れることのできない事件と関係していたのです。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済み

- ・新規登録者合同研修会 4/26「報告書の書き方」等
- ・要約筆記者新規ステップアップ研修
PC: 5/28・6/11、手書き: 6/7・25
- ・新規手話通訳者実技研修 5/20・27、6/3・10・17・24

- ・登録者合同研修 6/28
- ・要約筆記者実践研修、要約筆記者実技研修(手書) 7/2
- ・手話通訳者実践研修 7/16
- ・要約筆記者実技研修(PC) 8/5、手話通訳者実技研修 8/6

センター(聴覚)のLINE・Instagram



きこえる方は
ご連絡ください

ご利用ください

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
4月	派遣数	237件	8件	13件	4件	4人	19本
	派遣人数	248人	14人	21人	16人	新規登録者: 0人	
5月	派遣数	235件	12件	14件	5件	9人	24本
	派遣人数	247人	22人	20人	17人	新規登録者: 2人	

ご協力
ありがとうございました

